【提案項目】
10　浄化槽の設置・整備等の推進について

【提案要旨】小型浄化槽・住宅団地大型浄化槽の改修等に係る支援

■提案事項

○　小型浄化槽の改築・修繕・維持管理に係る支援をすること

　社会の変化に伴う世帯員減に対応する既設浄化槽の更新に係る新たな支援や、浄化槽維持管理費用の負担軽減に係る支援の公共浄化槽以外への拡大など、支援の拡充が必要である。

○　住宅団地大型浄化槽の改修等に係る支援を再開・拡充すること

　電気部分の更新などがない大型浄化槽の改修を支援するために、支援制度の再開や、エネルギー効率の低い既設中大型浄化槽への設備導入支援事業の拡充が必要である。

【提案先：環境省・広島県】

10　浄化槽の設置・整備等の推進について

東広島市の現状と課題・取組状況

【現状】

〇公共下水道認可区域以外の区域における重要な施策として、小型浄化槽設置整備事業を推進することにより、生活排水による公共用水域の汚濁防止に取り組んでいる。

〇大型浄化槽を設置している住宅団地の大半が稼働後25年以上を経過し、早急な老朽化対策が必要となっている。

【課題】

〇河川の水質改善は一定の成果が上がっているものの、黒瀬川流域での環境基準を達成するために、継続してみなし浄化槽から浄化槽への切替えを推進していく必要がある。

〇社会変化に伴う世帯員減や老朽化のため、浄化槽の維持に係る財政負担が大きくなっている世帯が増えており、世帯規模に応じた浄化槽の更新や、修繕、保守点検、清掃など適切な管理を促す必要がある。

〇空家が増加している住宅団地の大型浄化槽の維持管理について、電気部分の更新などがない改修の場合、国の補助事業の要件に該当しないため、費用負担が困難となってきている。

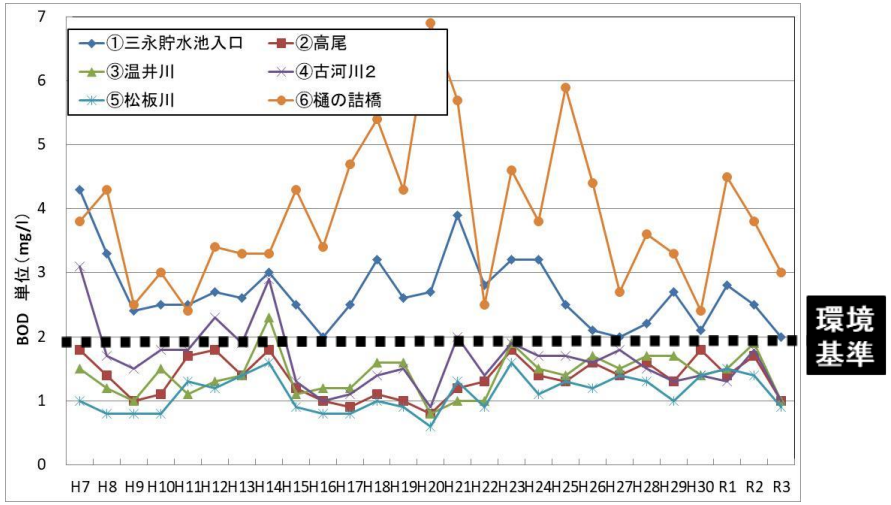
【取組状況】

〇平成元年から、小型浄化槽設置整備事業による整備促進に取り組み、これまで計13,268基の小型浄化槽が設置されている。

〇平成29年度から住宅団地の大型浄化槽の改修に対する補助制度を創設し、老朽化などを勘案して計画的に支援している。

老朽化が進んだ住宅団地の大型浄化槽の様子

＜黒瀬川の水質（生物化学的酸素要求量BOD）の推移＞



＜東広島市の生活排水処理の現状＞

（R4．3．31現在）

総人口
188,387人（100%）

処理区域内人口内訳

公共下水道区域人口
122,617人（65.1%）

集落排水施設区域人口
2,493人（1.3%）

浄化槽区域人口
63,277人（33.6%）

合併浄化槽
50,577人（26.8%）

合併浄化槽への転換を図るため今後も補助が必要

非水洗化トイレ・みなし浄化槽
14,577人（7.7%）